

日脚がめつきの短くなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？街路樹の銀杏が黄色く色づいており、冬の到来を感じられます。

## 面会について

新型コロナウイルスは2019年12月より中国の武漢から始まり、4年目になろうとしています。国内では感染者数は一時的に落ち着きましたが、最近、感染者の増加に伴い、ニュースでは第8波になりつつあると言われ始めました。今後の予想では、現在のオミクロン株が沈静しきらず再燃するか、オミクロン型ウイルスの新たな派生型が行するか、オミクロンではない別の変異株が出現して世界的に流行するかのいずれかになると言われています。そのような中でシャローム横浜では、新たな面会方法として、現在玄関脇のロビーでの直接面会を10月から開始しました。当施設では7月中旬よりご利用者と職員併せて80名以上の新型コロナウイルス感染によるクラスターを経験しました。そのような中でも職員から直接面会等の要望もあり、検討を重ねてようやく実現することができました。

家族からは「10分でもいいから直接会いたい」と高く評価していただいております。面会時に対応する職員から「ご利用者・ご家族の笑顔が全く違う」との声もあり、多くの皆様に喜んでいただけていることに感謝しております。

以前は日中いつでも居室で面会できましたが、コロナの出現によって大きく変わりました。今後の感染拡大により、面会方法を変更する可能性もありますが、できる限り皆様に笑顔で生活していただきたいとの願いをもって、できる限り直接触れ合えるように配慮していきたいと考えております。これからも皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

施設長 高原信夫



直接面会の際の記念撮影



## 3階お誕生日会

3階フロアでは、毎月お誕生日会を行っております。コロナ対応により、8月から実施できませんでしたが10月に3か月分のお祝いをいたしました。

大きなケーキを用意すると皆さん驚いた表情で召し上がられ、「美味しいわね」と喜びの声も聞かれました。

3階主任 竹内一平



第268号  
令和4年11月15日発行  
(毎月1回 15日発行)

責任者：施設長 高原信夫  
〒241-0802  
横浜市旭区上川井町  
1988  
社会福祉法人  
アドバンチスト福祉会  
シャローム横浜

編集委員

小林・荒金・加藤  
☎045-922-7333

<https://www.adventist-welfare.jp/yokohama/>



あったかいが  
いいね

## ハウスキーピングのご紹介

ハウスキーピング部門は 7 名の職員が勤務をしています。平日は 4 名、土日は 2 名で 1 階から 4 階の掃除を担当しています。

ロビーから通路、居室、トイレを各階に分かれて行き、ショートステイの方が入所される部屋のリネン交換なども行います。感染症対策では 1 階から 4 階の手すりやドアノブの消毒を 1 日 2 回徹底しています。これからもメンバー 7 名で頑張ります。

ハウスキーピング副主任 竹淵順子



## 11月6日（日曜日）焼き芋の日

11月6日は栄養課行事で毎年恒例の種子島産 焼き芋の日でした。

当日は天気も良く、ポカポカ陽気の焼き芋日和でした。

ご利用者の皆様もニコニコしながら大変喜ばれて食べられていました。



栄養課  
安岡職員



栄養課課長 小寺秀偉



## 「永遠に耐えるのは大地のみ」

特養にお住まいのKさんの部屋を訪ねた時、一冊の本を発見。それは実兄が太平洋戦争時に『陸軍水上特攻・船舶特幹』として玉砕・特攻として戦死していかれた記録本であった。Kさんはそれを大切に保管しておられた。「優しい兄でした」と言われる。年18歳にしてフィリピン沖にて没。実は私の妻の実父も四国松山の空軍予科練に特攻として志願した経歴を持つ。母親は息子が家を出て行くとき、もうこれが今生のお別れと思い泣いて送り出したという。

ところが、その息子が生きて帰ってきたのである。というのは高知から松山へのJR予讃線はトンネルが多く、その煙のすすが目に入り結膜炎となり航空隊では目が悪いと勝負にならず身体検査ではねられたのである。母親は死んだと思っていた息子が生きて帰ってきたので大喜びしたという。ちなみに年は同じく18歳であったとい

## 第176回 チャプレン 上前 至

う。同じ18歳という人生でありながら一人は死に一人は生きる。なんとという運命のいたずらだろうと思わざるを得ない。

1944年10月20日、マニラにおいて閑行男大尉のもと零戦による「敷島隊」が編成され米護衛空母群に突入、ここから特攻が始まった。特攻による戦死者は合計で4000名に上るといふ。多くが20代前後の若者である。この作戦を生み出した第一航空艦隊指令長官・大西瀧次郎は「この作戦は統率の外道だよ」と自ら言い残しつつ割腹自決をした。敗戦の翌日8月16日の事である。

「コヘレトは言う。なんと  
いう空しさ、全ては空しい。  
永遠に耐えるのは大地のみ。  
コヘレトの言葉 | 章 | 1 ~ 5 節

